自社開発の構造計算システム発売

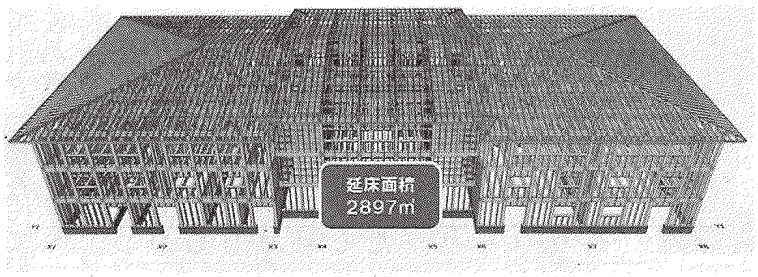
2000㎡以上の大型物件に対応

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は9月、非住宅木造プレカットCAD「XF15」のオプションとして自社開発の構造計算システムを発売する。他社のエンジンを搭載していた従来の同システム「スペドルX」（スペースドルフィンXF15）では対応できなかった2000平方㍍以上の物件にも面積制限なく対応するほか、自社の判断でバージョンアップできるのが特徴だ。来年4月には同じエンジンを搭載した住宅向けの構造計算システムも発売する。

システムは「NSC15」（ネットイーグル・ストラクチュラル・カルキュレーションXF15）。XF15の入力画面に表示されるコマンドで構造計算モードに切り替え、許容応力度計算チェックを実行すると日本住宅・木材技術センターの「木造軸組住宅の許容応力度設計」（グレー本）に準拠した構造計算が自動でできる。

2000平方㍍以上の物件に対応するため、面積制限のないXF15で入力するすべての物件が構造計算できる。ただ、物件が大きくなると図面を出力する際、縮尺が小さくなり、見づらくなるという問題が生じる。このため、伏図拡大出力機能を搭載し、構造計算書のA4縦の用紙に加え、A3横の用紙で補足図面を出力できるようにした。



延べ床面積2,000平方㍍以上の面積制限なく構造計算できる

同社は、XF15を単なるプレカットCADではなく、構造設計CADとして活用してもらうことを想定する。規模の大きい非住宅は住宅以上に部材点数が多く、構造計算、プレカットのそれぞれの段階で入力していると手間と時間が掛かるうえ、修正が入った場合の手戻りや承認の取り付けなどの業務が煩雑化するためだ。基本設計の段階からXF15を使えば、構造計算から加工までそごなくデータが流れ、後工程を格段に効率化できる。

XF15は、自動設計プログラムで製作金物を自在に設計できるのが特徴で、NSC15を使えば、リアル加工パースで製作金物の収まりやほかの金物との干渉、材の取り合いを目で見て確認しながら構造計算できる。CADの画面上に部材の安全率を色分け表示する機能や、通りごとに安全率をグラフ化する機能、部材の検定値を表示する機能なども備えている。エンジンから自社開発したため、ユーザーのニーズを反映したバージョンアップにも即座に対応できるようになる。

来年4月には、NSC15と同じエンジンで計算できる木造軸組プレカットCAD「Xstar」向けの構造計算システム「NSC－Xstar」も発売する。発売に当たっては設計事務所向けに従来のレンタル方式（月額利用料）に加え、サブスクリプション方式（年間契約）でも利用できるようにする。

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

新しい木の時代へ
Kick off
木材建材ウイクリー
Japan Lumber Reports
電子版

日刊木材新聞社
支社・支局
大阪支社
☎06-6534-4300
Fax06-6534-4331
中部支社
☎052-251-2025
Fax052-241-1160
中国支社
☎082-231-2285
Fax082-293-9788
九州支局
☎096-352-1856
Fax096-322-6005
東北支局
☎022-239-4430
Fax022-231-3474

主な記事

▽3面 東北商況　秋田の大雨被害注視
▽4面 九州商況　台風接近、盆前の手当進む
▽5面 関西・四国版　関西の原木市場、インボイス制度への対応策を模索
▽6面 資源・資材の発掘戦略　トーセン
▽7面 木曽官材市売・第56回木材まつり　販売材積減も単価は上昇